北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院附属　東アジアメディア研究センター［講演会］

# 中国メディアの現在と未来

## ◀都市報『新京報』の挑戦▶▶▶▶▶▶

2015
10/10(土)
13:00～17:30
（開場／12:30）

**北海道大学 遠友学舎**
札幌市北区北18条西6丁目

中国のメディア環境は、経済のグローバル化と情報のボーダレス化を背景に急速に発展すると同時に、国際情勢や国内問題、それに対する政府の政策を受けて激しく変動しています。

2003年に創刊した『新京報』は、「読者至上主義」を掲げて党機関紙とは異なるスタンスで独自報道を続けてきました。2011年に党宣伝部の管理下に収められ、党の宣伝機関としての役割を果たしながらも、メディア企業として読者を獲得し収益を上げる道を模索しています。

『新京報』はまた、デジタル時代にあって伝統メディアの価値を維持するためのさまざまな挑戦を行っています。インターネットへの対応を迫られる日本の紙媒体と共通する問題意識を抱えています。

このたび本学に『新京報』の幹部を迎え、同紙が持続的に成長してきた経営の秘訣をお聞きするとともに、党機関紙と商業紙・都市報との併存、デジタル化の波にさらされる伝統メディアなど、『新京報』をめぐるメディア環境について紹介していただきます。ぜひご参加ください。

13:00　開会あいさつ
13:15　講演「メディア企業としての新京報の課題と対策」
**張学冬**
（『新京報』傳媒グループ　副総裁）
14:15　質疑応答

15:00　講演「新京報の経験と挑戦」
**朱学東**
（『新京報』傳媒研究院　副院長）
16:00　質疑応答
16:45　総合討論（17:30終了）
＊逐次通訳あり

**入場無料**
事前登録不要

【主催】北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院附属　東アジアメディア研究センター
【問い合わせ先】周倩（北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院）Tel:011-706-6941　Email:zhou1qian4@imc.hokudai.ac.jp